

鳴海周平の

# ぶらり旅

イタリア・ヴェネツィア編

「フィレンツェへ留学することになったから、なるみんも来てー」

盟友はせくらみゆきさんから  
のそんなお誘いに、フィレン  
ツェがどこにあるのかも知らな  
いまま「行く行く！行きまーす」  
と即答してしまったことから  
始まったイタリアの旅。

芸術の街・フィレンツェを  
満喫した後は、鉄道で移動する  
こと約2時間。かつてイタリア  
を代表する海運王国として栄  
えた水の都・ヴェネツィアを  
ぶらり旅してみました。



ヴェネツィア共和国として栄えた時代の面影を残す街並みは、干潟とともに世界遺産に登録されています。



サン・マルコ広場の大鐘楼から望むヴェネツィア市街。複雑に入り組んだ小道と運河で形成された街並みは、まるで迷路のよう…。

5世紀にアドリア海の干潟に杭を打って造られたという街・ヴェネツィア。入り組んだ小道と運河が織り成す街並みには、車がいつさえい走っていません。「街での移動手段は、船か徒歩だけなんだって。どうする？」というみゆきさんの問いかけに



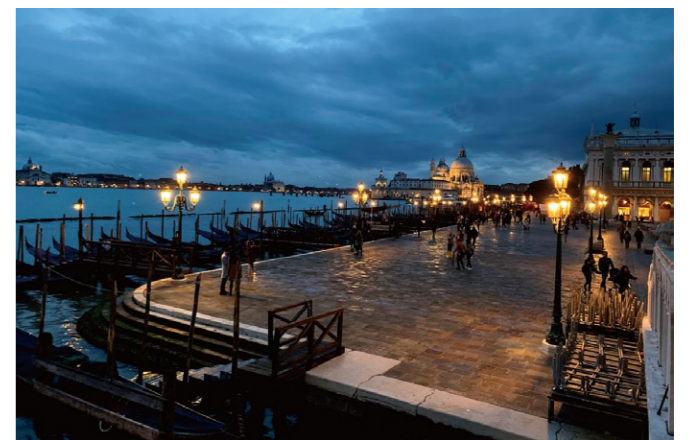
車が走っていないヴェネツィアでは、移動手段は船か徒歩。ゴンドラも大活躍しています。

「徒歩でトホトホ(とほとほと)行きますか」と答えた後、しばしの沈黙…(笑)。  
レストランやショップが立ち並ぶリアルト橋を渡り、ナポレオンがかつて称賛したというサン・マルコ広場で、街を見渡せる大鐘楼へ昇ってみました。



1720年創業のカフェ・フロリアン。ゲーテやカサノヴァも常連客だったとか。「世界最古のカフェ」と言われているそうです。

「うわぁー、茶色ー!!」  
みゆきさんの反応は、いつでも、とってもシンプル(笑)。夕食はアドリア海のシーフードを美味しくいただきました。



主な移動手段はヴァポレットと呼ばれる水上バス。停留所のある港にはたくさんのゴンドラも並んでいます。

「明日はかなりの高潮になるみたいだから、なるべく早く駅へ向かった方がいいですよ」  
ホテルの方に言われたとおり、翌朝は少し早めにホテルを出発。

早朝から鳴り響いていたサイレンは高潮(アクアアルタ)警報だったようで、駅へ向かっている

間にも、水位がどんどん上昇していくのがわかります。

その夜、移動先のミラノで観たニュースでは、ヴェネツィアが50年に1度と言われる記録的な高潮に見舞われたことを伝えていました。おりしも日本では、令和天皇即位の大嘗祭関連行事が粛々と行なわれている真ただ中。地球規模でも大きなエネルギー変化があったことを実感した旅でもありました。

「なるみーん、次はアッシジ行こうね!」

「はい、行く行くー行きまーす」  
アッシジがどこにあるのかも知らないまま、また即答してしまった僕…。まずは、アッシジの場所から調べてみることにしましょうか(笑)。

この素敵な旅にお誘いいただいた盟友はせくらみゆきさんに改めて感謝申し上げます。  
みゆきさん、どうもありがとうございました!!



はせくらみゆきさんには、フィレンツェに引き続き、ヴェネツィアでも楽しいひと時をご一緒いただきました。



アドリア海に面したヴェネツィアならではの、新鮮な海の幸豊富な極上シーフード。シンプルな味付けが、素材の美味しさをいっそう引き立ててくれます。



③ヴェネツィアを出発する寸前には、建物の1階部分まで浸水。この後、50年に1度と云われる記録的な高潮(アクアアルタ)となったそうです。



②翌日早朝に「高潮(アクアアルタ)警報」が発令された後、ヴェネツィア観光の必須アイテムという「ビニールの防水靴カバー」を装着する人が増え始め…。



①ナポレオンが「世界一美しい広場」と絶賛したサン・マルコ広場。到着したこの日は、こんなに穏やかだったのですが…。